

「ひょうご講座 2025」が9月1日、開講しました。



5分野・37講座の先陣を切ったのは、防災・復興分野の講座。登壇されたのは、名古屋大学名誉教授であり、政府の委員会の座長も務める福和伸夫先生です。

奇しくも「防災の日」にあたるこの日、「南海トラフ地震対策と防災庁」というテーマで、門外不出とも言える本音トークをご講演いただきました。

満員の会場では、受講者たちが過去の災害を振り返りながら、巨大災害に対する現状の災害対応の脆弱さを痛感。さらに、それに対する具体的な対応策や、自助の

重要性について改めて学びました。

講義の終盤では、「国民と共に考え、共に備え、共に守る」ための本気の事前防災を推進する司令塔として、また、縦割り行政の弱いところを勧告権をもって指摘する行政庁として、防災庁への期待が語られ、受講者は熱心に耳を傾けていました。



「ひょうご講座 2025」は、12月まで、最先端の「知」を県民の皆さまへ届ける架け橋として、受講者の期待に応えてまいります。